

発行



社会福祉法人 黒潮園

〒647-0061

和歌山県新宮市三輪崎2471-1

Tel 0735-22-5689 Fax 0735-21-3220

ホームページ http://www.kuroshioen.jp

# 黒潮園だより



## 2011年5月 デイルーム完成

改修を進めていた1階のデイルームが完成し、入所者様へのお披露目として握り鮎パーティーを開催しました。

改装後、初めて入室した入所者様は一変した部屋の様子にビックリ!「きれいになったの〜」「すてきやね〜」と大変驚き、感激された様子でした。早速真新しいテーブルに着かれたところで厨房の添谷職員、谷職員がいなせな鮎職人に変身。入所者様のオーダーに応じ、どんどん鮎を握っていきます。給仕する職員も半被を羽織るなど、まるで新装開店の鮎屋のような雰囲気の中で入所者様も随分と食が進み、ご満足頂けたようです。



### ご入所者さまの生活環境



社会福祉法人 黒潮園  
理事長 岡 司

盛夏の候 皆様におかれましては益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

今年も連日の猛暑続きで、大変厳しい暑さの夏となっております。そのような折、去る七月三十日に夏の行事「大納涼大会」を、ご家族をはじめ地域の皆様のご支援により盛況に終えることができました。この場をお借りしまして厚くお礼申し上げます。

さて、表紙の写真にもありますように、特別養護老人ホーム黒潮園の1階の一部耐震補強とリフォームを行いました。

黒潮園は昭和五十二年に開設され、今年で三十四周年を迎えました。新耐震基準が施行された昭和五十六年より前に建築された建物と言う事で、平成十九年十月に耐震診断を受けました。その結果、ご入所されている居室棟においては震強度は十分であり、安心して過ごして頂けることがわかりました。居室外の部分に小規模な耐震補強が必要であり、今回、一部に補強を実施しました。

一方で、施設の構造上の問題により、ご入所者さまのプライバシーへの配慮が不足している点や、老朽化した箇所もあります。そこで黒潮園では数年をかけて順次、リフォームに取り組むことを事業計画に入れております。

今回の改修では、1階食堂をご入所者さまがくつろぐことの出来るデイルームへ改修し、トイレの増設をおこないました。このことにより、遠くのトイレへの移動が不要になり、ご入所者さまも職員も負担が軽減されました。これは現場職員からの長年の要望でもありました。

また、出来るだけ家庭的な雰囲気を感じて頂けるように、木目を基調としたインテリアをデザインしています。その効果として、日頃、不穏となり徘徊の著しい認知症の方が落ち着いて過ごされる様子が見られています。

このように、高齢者の環境は生活の質においてとても重要であると考えます。今後もご入所者さまが安心して、快適にお過ごし頂ける施設を目指し、改修計画を進めて参りたいと思っております。

# ボランティア活動

黒潮園は多くの方々の愛情によって支えられています。その一部をご紹介します。

## 花の日 マリア保育園の子供たち

今年も『花の日』にマリア保育園の子供達が来園して下さいました。『花の日』とは今から150年ほど前にアメリカで始まったキリスト教の行事で、美しい花を咲かせ子供達を健やかに育ててくださる神様に感謝を捧げる日であり、日頃お世話になっている人に感謝の気持ちとしてお花を届けます。花を手にし子供達が入場すると、集まった入所者様からは歓声があがりました。

そして、肩たたきやダンスといった子供達との触れ合いに終始笑顔が浮かべられていましたが、感謝のあまり涙を流される方も・・・。「元気もろたわ～」と大変喜ばれていました。



ダンスを踊るマリア保育園の園児



肩たたき…入所者様も嬉しそうです



お花を頂きました



日本舞踊 西川流友華会の皆様ご来演いただきました

## 日本舞踊 西川流友華会の皆様

日本舞踊・西川流友華会の皆様にご来演頂きました。西川流は日本舞踊の五大流派の一つに数えられ、その中でも最古の歴史を有します。当日は子供達に日頃のお稽古の成果を披露して頂きました。可愛い子供達の優美でしなやかな踊りに、観覧された入所者様は盛んに拍手を送っていました。



子供達の踊りに盛んに拍手を贈られる入所者様

## 世界一の口笛

神奈川県在住の口笛奏者、奥田憲弘氏にご来園頂き、口笛演奏を披露して頂きました。奥田氏は日本口笛奏者連盟の副会長を務めておられ、2008年に開催された第35回国際口笛大会のシニアの部、クラシック・ポピュラー・総合の三部門で優勝された実力の持ち主です。今回は奥様が新宮市ご出身ということで帰省を期にご夫妻でお越し頂きました。国際大会優勝曲の『見上げてごらん夜の星を』を始めとする美しい口笛の調べに入所者様はもとより職員も時の経つのを忘れ、聴き入っていました。



口笛奏者の奥田憲弘氏 2008年シニアの部世界一です

# 納涼大会 平成23年7月30日

今年も恒例の納涼大会の季節がやって参りました。毎年入所者様が心待ちにされているこのイベント、当日は曇り空で隣町では午後から雨が降り出したということでお天気が心配されましたが、幸いにも雨は降らずに最後までもってくれました。



## 舞



開幕を飾るのは昨年に引き続きいちごクラブ、子供達のバレエです。カラフルな衣装を身にまとい、可愛く元気に舞う子供達に入所者様は大喜び。盛んに拍手を送られていました。

続いては盆踊りです。やぐらの周りを二重の輪を描きながら、おそろいの浴衣を羽織った日本舞踊・滝美会の皆様が始めると、入所者様、ご家族様、そして半被、浴衣姿の職員も次々に踊りの輪に加わります。

やがて日も暮れ始め、辺りが暗くなる頃には踊りも最高潮、やぐらの周りに張り巡らされた提灯の明かりが気分を盛り上げてくれます。最後は新宮総踊りで締めくくりました。

## 踊



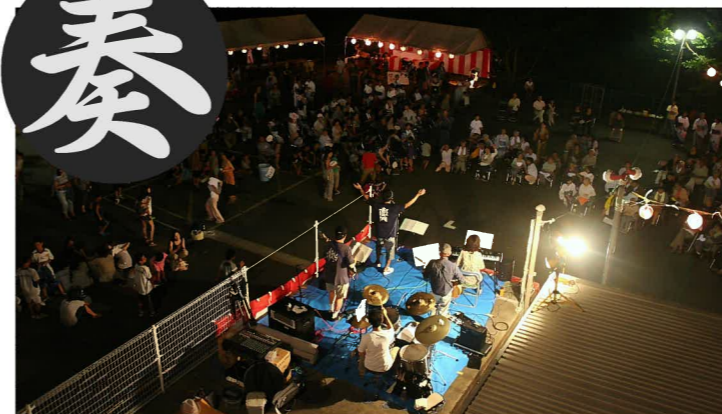
プログラムの最後は地元のバンド、HANABIの皆さんの演奏です。ご利用者さまにもなじみのある曲を演奏していただき、歌を通じて会場が一つになり終演を迎えました。



## 祭

当日は綿菓子やカキ氷、イカ焼きなど沢山の屋台を出店しました。中でも的当てゲームが子供達に大人気、長蛇の列が出来ました。

## 奏



## 外出支援への取り組み

黒潮園では『望みかなえ隊』による外出支援の他にも日頃から積極的な外出支援に取り組んでいます。その一部をご紹介します。

### 紫陽花ドライブ



紀宝町田代公園や那智山へ紫陽花を見に出かけました。今年は冬場の寒さの影響か、どこも花の数は少なめでしたが参加された入所者様には大変喜んで頂けました。



### 宇久井ビクターセンター



那智勝浦町の宇久井にあるビクターセンターへもよく出かけます。広々としたテラスや広場、展望台などが有り、ゆったりとした一時を過ごすことができます。



## 青空の下へ出掛けよう！

### 筍掘り



筍掘りに出かけました。といってもここは黒潮園の裏庭です。大自然に恵まれた黒潮園では裏庭に筍が顔を出します。他にも庭に出たの野外レクを積極的に行なっています。

### お花見



4月のお花見。紀宝町の大里親水公園や田代公園方面など桜の名所へ出かけます。年中行事の一つとなり入所者様も楽しみにされています。

## 『望みかなえ隊』による外出支援

私たちのケアのあり方により、ご入所者の生活の質は大きく変わります。「歩くことが出来たら」という願いに、私たちは生活の中で歩行リハビリに取り組んでいます。これまで生活は車椅子中心で、歩くことが出来ない片麻痺のご入所者（介護度4の方）も見守りで歩くことが出来るようになるなど、継続して実施することにより生活に大きな変化が見られています。歩くことは脳の活性化にもつながり、認知症症状にも変化が見られ、これまで表情や感情を表に出さなかった方に笑顔や様々な会話が見られるようになる等、私達たちもとても驚いています。そこで2階フロアでは、更に「ご本人の希望をもとに目標を決めて歩く練習に取り組もう」と言う事で『望みかなえ隊』という企画を行いました。

昨年の11月18日、三名の入所者様ご本人と施設ケアマネージャーと介護・看護職員で、それぞれの希望（望み）から目標を決めるカンファレンスを実施しました。そこで「美味しいものを食べに行きたい」、「焼肉を食べに行きたい」、「買い物に行きたい」とそれぞれ3人の希望をお聞きしました。



昨年11月18日に行なわれたカンファレンスの様子  
ご本人から直接希望を伺いました

「歩けるようになって焼肉を食べに行こう！」「歩いて買い物に行くぞ！」その日以降、お三方はそれぞれが定めた目標を達成すべく、歩行練習に取り組んできました。始めは車椅子より立ち上がることに介助を必要としましたが、歩行器を使った練習に取り組み、今では見守りにより歩けるまでになりました。目的意識を持って取り組むリハビリの効果は絶大で、日に日に歩行距離が伸びて行きました。それと共にお三方の様子にも変化が……。笑顔を見せられるなど表情が一変し、リハビリにも積極的、自発的に取り組んでおられます。当初の予想を上回るようなこの大きな成果に、私達も驚くと共に大きな感動を得ました。

### リハビリに取り組まれるお三方の様子

4ヶ月が過ぎ、当初の目標を上回る程の成果が得られたことから今日はいよいよその願いがかなう日ということになりました。「焼肉を食べたい」という願いに職員が入念に下見をしたところ、市内神倉の焼肉ひげさんがこの企画を快く理解して頂き、ご厚意により特別に高齢者の方でも安全に食べることが出来る柔らかいお肉を出して頂きました。



焼肉店を訪れたお二人・・・お店には歩いて入られました



広い店内を歩いて買い物される原様  
帰園後は自ら購入された食材で晩酌を楽しみました

買い物を希望されていた原様はイオン新宮店へと出掛け、広い店内を歩いてショッピングを楽しめました。ほんの数ヶ月前には想像も出来なかった原様のお姿を目の当たりにし、付き添いの職員も驚き、大きな感動を得ました。帰園後は自ら買って来た食品とお酒で晩酌を楽しめました。

